



HISAO TANAKA
 経済学部教授 会計学専攻
 博士(経営学) 会計学専攻
 1957年高崎生まれ、謹厳実直な硬派の良品を目指して努力してきたが断念。結果50年の間、軟派の不良を続けてきた。可哀想に一妻三女有り。それでも生活信条は「(た)のしく、(な)かよく、(か)っこよく」。車、ゴルフ、酒、温泉、怠惰をこよなく愛す。今年の目標は皆に親切にすること。

私のことを思い出してみると、高崎から東京に上京して憧れの一人暮らしが始まり、毎日が楽しくアツという間に4年が終わってしまいました。それでも、大学入学後まもなく行った生協の本棚から薄くて安い1冊の会計学の本を手に取り、なにかインスピレーションを感じてそれを購入して読み始めたんだ。もとより普通高校出身の私だから、簿記のことも皆自分からいままその本を読んでいた。でも、あとで考えるとこれが名著だったんだ。高名な先生が斯界を代表する出版社から出した基本書だったんだ。

3人 1冊の本との出会い……乱読のススメ

君たちは世間ではそれなりに難関と評されている大学に進学できました。それは良かったことだね。おめでとう。それじゃあさ、その大学生活の中で自分がやらなければならぬことぐらいは自分で判ってるよね。だって君たちは優秀といわれてるんだからさ。あとは判ることが出来るか出来ないかだけだね。大切なのは判ってることをやり抜く根性があるかってことかな。ちよつと古いかな。

2人 わずか1時間20分の turning period

そうだとすれば大学時代の4年間は人生にとって他の期間に比べて極めて重要な時間帯だと気付くよね。この4年間、1時間20分の間をいかに過ごしたかが大事だと思うんだ。ならばいま君はこの4年間で何を目標にして、それをどうしたら実現できるのかを頭が焦げるくらい真摯に考えた方がいいよ。君の人生はまだ始まったばかりだけれどスタートは早い方がいいに決まってるからさ。そしてその後4年間といってもわずか1時間20分のことだから継続して本気で真剣に努力するんだね。だって、誰よりも可愛い自分のためなんだからさ……。

君たちは世間ではそれなりに難関と評されている大学に進学できました。それは良かったことだね。おめでとう。それじゃあさ、その大学生活の中で自分がやらなければならぬことぐらいは自分で判ってるよね。だって君たちは優秀といわれてるんだからさ。あとは判ることが出来るか出来ないかだけだね。大切なのは判ってることをやり抜く根性があるかってことかな。ちよつと古いかな。

学びのスタンス



田中久夫 掘ったイモいじるな。 NOW?

1人 君はいま何時?

人生を一日に例えると、君はいま何時頃を過ごしているのかを考えたことがありますか?つまりは、What time is it now. (掘ったイモいじるな)。人間の寿命は人それぞれだけれど計算しやすいように72歳で一生を終えると仮定すると、それを24時間で割れば1時間で3歳をとることになるよね。君がいま18歳だとすれば、その時間は早朝の午前6時に相当するはず。まだ夜明け前だね。今朝ならまだ起きてなかったかな。そんな時間帯

WHAT TIME IS IT NOW?

に自分の人生のすべてが決まるかもしれない大学や専攻を決めたわけだね。

さらに大学をスムーズに4年間で卒業できたとしても卒業時の22歳はまだ午前7時20分だよ。普段ならまだ顔も洗ってないかもしれない早朝に一生のメシの種になるはずの仕事を決めることになるんだね。早いね。冒険だよ。でもそれから会社に勤め、働き続けて定年60歳(午後8時)を迎えるまでの約12時間40分間、いや定年後死んでしまうはずの午後12時までの4時間(12年間)をも含めて人生の大半を充実して豊かに送るためには大学4年間に何をすべきかが決定的な影響力を及ぼすような気がするんだよね。

うまく説明出来ないけど、中身はまったく分からなくてもどうしてもそれを理解してみたい気持ちを起こさせる本だったんだ。文章が魅力的だったのかなあ……。その時直感的にこの本を理解できるかどうか私それから多大な影響を及ぼすような気がして、その後この本と同じようなタイトルの会計学書を200冊ほど買い込み、1年足らずのうちに、つまりは人生時計ではわずか20分間のうちに乱読、読了した。そしてもう一度この本を読んだとき、そのすべてが理解できる自分になっていたんだ。計画性もないままただ乱読していただけなんだけど、どの本にも載っているところはベーシックなところであり、ある本にしか載っていない部分はその著者オリジナルの言説だということが理解できるようになったんだ。そういう体験の中から、いろいろな人の考えを取り入れて自分が講釈できる会計学の体系が構築されていったんだと思う。

この時のわずかな期間がその後の私を形造り、いまの姿(君たちに会計学を講義する教員)になったんだ。あのときの直感と膨大な量の無計画な乱読が一人の人間の一生の生活を支える糧になったわけだね。ちなみに、最近この本を出版していた出版社から私も本を出版しました。ちよつと嬉しいな。私の本を読んで会計学を志す学生が生まれたら最高だね。

4人 残された時

私もすでに51歳。午後5時ちょうどの人間だ。午後3時のオヤツは食べてしまったが、これから帰宅して楽しい晩酌が待っている。たまには君たちとも盃を傾けたいね。まあ、君たちの人生設計も自分のことなんだから自分で考えなさい。すべては自己責任。良いことも悪いこともそれらを全部引くくるめて人生なのさ。さあ、バラ色の4年を楽しんで……。

